

## 指導と評価の年間指導計画 現代文 B

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
現代文 B (現代文 Bα・β)	3年	2	精選現代文 B (東京書籍)	漢字 TOP2000 (いいずな書店) 新現代文単語 (いいずな書店)

科目の目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。				
主な学習活動	<p>1 授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめましょう。 【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】</p> <p>2 テキストの読解や対話などの言語活動を通して思考を深め、判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】</p> <p>3 課題意識を強く持ちつつ、対話を通して生まれた多様な読みを受容し視野を広めましょう。 【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】</p> <p>4 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】</p> <p>5 授業で学習した内容と日常生活(身近な言語表現など)を関連づけ、言葉を意識して自ら学ぶ意欲を高めましょう。【グローバルな視点】【キャリア設計力】</p>				
未来創造力	<b>知の基盤となる力</b> 社会で生きる知識・技能、読解力	<b>探究する力</b> 批判的・論理的思考力や創造力、表現力		<b>未来へ向かう力</b> 自律の精神、友愛の精神、進取の精神	
評価の観点及び評価規準	知識・理解	読む能力	書く能力	関心・意欲・態度	話す・聞く能力
	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。
主な評価方法	・授業状況の観察 ・ノート ・定期考査	・授業状況の観察 ・小テスト	・授業状況の観察 ・定期考査 ・提出物への取組	・授業状況の観察 ・提出物への取組 ・小テスト	・授業状況の観察 ・提出物への取組

## 現代文 B 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
1	評論(1) 評論(2) 評論(3) 評論(4)	○近代,言語・記号,身体・精神,家族など多岐にわたるテーマの評論を読解し,現代社会に対する問題意識を育てる。  ○具体と抽象・二項対立・接続詞などの評論読解スキルを習得して,全体の構成を理解し,主題や筆者の意図を正確に読み取る。  ○テーマに関する新しい考え方を認識させ,自身の思考を深める。	・自らの考えをまとめる ・要約を書く ・ペアでの対話活動 ・クラス全体のクロストーク ・意見文・感想文の提出
2 3	評論(5) 評論(6) 小説(1) 小説(2) 小説(3) 評論(7) 評論(8) 小説(4)	○科学・環境・文化・資本主義・グローバリゼーション・メディアなど,代表的なテーマの評論を読解し,現代社会に対する問題意識を育てる。  ○具体と抽象・二項対立・接続詞などの評論読解スキルを習得して,全体の構成を理解し,主題や筆者の意図を正確に読み取る。  ○テーマに関する新しい考え方を認識させ,自身の思考を深める。  ○問題演習を通して小説読解にも取り組み,場面展開や表現の工夫を学ぶ。  ○学習の仕上げとして抽象度の高い評論文に取り組み,現代社会に対する見識を高め,市民としての自覚を育てる。  ○質の高い評論や小説を読むことで,人間理解を深め,生涯にわたる読書生活の礎を作る。	・自らの考えをまとめる ・要約を書く ・ペアでの対話活動 ・問題演習 ・クラス全体のクロストーク ・意見文・感想文の提出
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

## 指導と評価の年間指導計画 古典 A

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
古典A (古典Aα)	3年	2	物語・史伝選 (筑摩書房)	新明説総合古典文法(尚文出版) 新明説漢文(尚文出版)

科目の目標	<p>古典としての古文と漢文, 古典に関連する文章を読むことによって, 我が国の伝統と文化に対する理解を深め, 生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。</p>		
主な学習活動	<p>1 授業では, 主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し, まとめます。 【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】</p> <p>2 テキストの読解や対話などの言語活動を通して思考を深め, 判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現します。【批判的・論理的思考力】【表現力】</p> <p>3 課題意識を強く持ちつつ, 対話を通して生まれた多様な読みを受容し視野を広めます。 【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】</p> <p>4 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り, 問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】</p> <p>5 授業で学習した内容と日常生活(身近な言語表現など)を関連づけ, 言葉を意識して自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】</p>		
未来創造力	<p><b>知の基盤となる力</b></p> <p>社会で生きる知識・技能, 読解力</p>	<p><b>探究する力</b></p> <p>批判的・論理的思考力や創造力, 表現力</p>	<p><b>未来へ向かう力</b></p> <p>自律の精神, 友愛の精神, 進取の精神</p>
評価の観点及び評価規準	<p>知識・理解</p> <p>伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め, 知識を身に付けている。</p>	<p>読む能力</p> <p>古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり, その価値を考察したりして, 自分の考えを深め, 発展させている。</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p>古典を読む力を進んで高めるとともに, 古典についての理解や関心を深めようとしている。</p>
主な評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業状況の観察</li> <li>・提出物への取り組み</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業状況の観察</li> <li>・提出物への取り組み</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業状況の観察</li> <li>・提出物への取り組み</li> <li>・小テスト</li> <li>・</li> </ul>

## 古典 A 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
1	源氏物語 かかやく日の宮 廃院の怪  史記 陶朱公范蠡	<ul style="list-style-type: none"> <li>○古典を学ぶ意義を確認し、物語を通じて古文の中の人間像を探る。</li> <li>○優れた文化遺産である『源氏物語』への興味を深める。</li> <li>○漢文に親しみ、話の内容を理解する。話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。</li> <li>○中国における歴史書と歴史の記録について、その特徴を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○登場人物の行動の理由や心情について、自分の力で説明文を書く。</li> <li>○漢文の歴史的背景について、基礎的な知識を持つ。</li> </ul>
2 3	源氏物語 車争ひ 心づくしの秋  史記 莊子 韓非子  評論 おほかた歌の姿は 因果の花  文章 前出師の表 五柳先生伝	<ul style="list-style-type: none"> <li>○『源氏物語』の物語世界に触れ、登場人物の行動や心情を読み味わう。</li> <li>○中国思想上の重要人物について、歴史書の中でどのように記述しているかを、既習の思想書との比較で読み味わう。</li> <li>○歌論を読んで、和歌の評価や詠作の過程を理解する。</li> <li>○能楽論についての基本的な知識を習得し、世阿弥の考えに触れる。</li> <li>○それぞれに出てくる専門用語を理解する。</li> <li>○格調の高い様々な作品を読み、人間の生き方について考える。</li> <li>○作者の主張を理解しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○心情を表す語句や敬語に注目して古語辞典などで調べ、古語の知識を増やす。</li> <li>○登場人物の性格や人物像を読み取る。</li> <li>○自らの考えと比較することで、ものの見方や感じ方の共通点や違いについて考える。</li> <li>○歌論を読み、実際に和歌を評価する。</li> <li>○能楽論から、自らの人生の課題へと繋げて考える。</li> <li>○日本人に大きな影響を与えた名文を通じ、話の流れや人物像を読み取ることで、その魅力を感じ取る。</li> <li>○全体を通して、それぞれの学習活動は单元ごとに3つの観点について評価される。</li> </ul>
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

## 指導と評価の年間指導計画 古典 B(漢文)

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
古典 B (漢文)	3年	1	改訂版 古典 B 漢文編 (第一学習社)	必携新明説漢文(尚文出版)

科目の目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方, 感じ方, 考え方を広くし, 古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。		
主な 学習活動	<p>1 授業では, 主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し, まとめる。 【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】</p> <p>2 授業では, 本文に基づいて読解を行い, 自らの考えを根拠に基づいて表現する。【読解力】 【批判的・論理的思考力】【表現力】</p> <p>3 授業では, 対話を通して生まれた多様な読みを受容し視野を広める。 【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】</p> <p>4 授業と同様に家庭学習も大切にする。学習したことを振り返り, 問題集の問題などに自主的に取り組む。【読解力】【進取の精神】</p> <p>5 授業で学習した内容と現代社会・日常生活(身近な言語表現など)を関連づけ, 言葉を意識して自ら学ぶ意欲を高める。【進取の精神】</p>		
未来創造力	知の基盤となる力	探究する力	未来へ向かう力
	社会で生きる知識・技能, 読解力	批判的・論理的思考力や創造力, 表現力	自律の精神, 友愛の精神, 進取の精神
評価の観点 及び 評価規準	知識・理解	読む能力	関心・意欲・態度
	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり, 漢字などについて理解し, 知識を身に付けている。	相手や目的, 意図に応じた適切な表現による文章を書き, 自分の考えをまとめ, 深めている。	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに, 言語文化に対する関心を深め, 国語を尊重してその向上を図ろうとする。
主な 評価方法	・授業状況の観察 ・提出物への取り組み ・定期考査	・授業状況の観察 ・提出物への取り組み ・定期考査 ・小テスト	・授業状況の観察 ・提出物への取り組み ・定期考査 ・小テスト

## 古典 B(漢文) 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
1	逸話 古代の史話	<ul style="list-style-type: none"> <li>○読みにくい語句・句法に注意しながら, 訓読に慣れる。</li> <li>○話の筋を読み取る力を養う。</li> <li>○それぞれの話に表れる中国人のものの見方・考え方を理解する。</li> <li>○長い文章の漢文読解に慣れ, 訓読のきまりを正確に理解する。</li> <li>○相手を説得する話術の巧みさなど, 登場人物の言動の要点を把握する力を養成する。</li> <li>○乱世に発揮された人間の英知と, 人間の運命について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音読</li> <li>・発問評価</li> <li>・自らの考えをまとめる</li> <li>・ペアでの対話活動</li> </ul>
2 3	漢詩(古体詩) 史伝  明代の文章 中国の小説	<ul style="list-style-type: none"> <li>○古体の詩の形式と内容の多様性, 主題の普遍性を理解する。</li> <li>○詩に込められた作者の心情を読み取る。</li> <li>○中国の歴史書について基礎的な知識を修得する。</li> <li>○中国古代の社会状況や政治思想を知り, 自己の歴史観や人生観を養う。</li> <li>○古代の人々の心情に触れ, 優れた文学的表現の妙味を味わう。</li> <li>○明代の文章を読み, 現代に通じるものの考え方を理解し, 漢文をより身近に感じられるようにする。</li> <li>○漢文を正確に読んで, 概要をつかむ。</li> <li>○筆者の主張を的確に捉え, その根拠を考える。</li> <li>○登場人物の心情がどのように表現されているのかを捉える。</li> <li>○漢文独自の誇張表現のおもしろさを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音読</li> <li>・発問評価</li> <li>・鑑賞文を書く</li> <li>・創作漢詩</li> <li>・自らの考えをまとめる</li> <li>・話し合い</li> </ul>
状況によって計画を変更する場合があります。			

## 指導と評価の年間指導計画 古典B(古文)

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
古典B (古文B ・α)	3年	2	高等学校改訂版 古典B 古文編 (第一学習社)	古文単語330(いいずな書店) 必携古典文法(啓隆社)

科目の目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。		
主な学習活動	1 授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめましょう。 【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 テキストの読解や対話などの言語活動を通して思考を深め、判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 課題意識を強く持ちつつ、対話を通して生まれた多様な読みを受容し視野を広めましょう。 【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】 4 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】 5 授業で学習した内容と日常生活(身近な言語表現など)を関連づけ、言葉を意識して自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】		
未来創造力	<b>知の基盤となる力</b> 社会で生きる知識・技能、読解力	<b>探究する力</b> 批判的・論理的思考力や創造力、表現力	<b>未来へ向かう力</b> 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・理解 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。	読む能力 古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	関心・意欲・態度 古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。
主な評価方法	・授業状況の観察 ・提出物への取り組み ・定期考査 ・小テスト	・授業状況の観察 ・提出物への取り組み ・定期考査 ・小テスト	・授業状況の観察 ・提出物への取り組み ・小テスト

## 古典 B(古文) 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
1	第Ⅱ章 説話 発心集 今物語 十訓抄  随筆(一) 枕草子	○説話を読んで、物語の中の和歌の修辞や場面ごとの役割を確認する。 ○登場人物の状況と、場面ごとの心情を正確に読み取る。  ○随筆を読み、人間、社会、自然などに対する筆者の思想や感情を読み取る。 ○2年次に学習した章段との関連を理解する。	○登場人物の行動の理由や心情について、自分の力で説明文を書く。 ○まとまった長さの説話を初見で読み、人物とその行動を把握する。  ○自らの考えと比較することで、ものの見方や感じ方の共通点や違いについて考える。
2 3	物語(一) 源氏物語  物語(二) 大鏡  評論(一)(二) 俊頼髓脳 無名草子 玉勝間	○2年次に学習した章段との関連を理解し、「源氏物語」についての知識を深める。 ○登場人物の行動や心情を読み味わう。  ○歴史物語を読み、登場人物の行動や心情を読み味わう。  ○歌論を読んで、和歌の評価や詠作の過程を理解する。 ○文学評論を読んで、物語の受容の仕方や、古典の時代における評価の仕方を読み味わう。 ○それぞれに出てくる古典作品について関心を持ち、調べたり読んだりする。  ○学問に対する宣長の考えを理解する。 ○宣長と兼好法師の考え方の相違を読み取り、宣長の思想を理解する。	○心情を表す語句や敬語に注目して、古語の知識を増やす。 ○戯曲的な構成を理解し、敬語や助動詞の知識を身につけ、現代語に訳す。 ○表現、和歌についての知識を整理し、心情と和歌がどのように密接に関わっているかを探る。 ○歌論を読み、実際に和歌を評価する。 ○文学評論を読んで、自らのものの見方、考え方と比較する。  ○全体を通して、それぞれの学習活動は单元ごとに4つの観点について評価される。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

## 指導と評価の年間指導計画 古典B(古文)

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
古典B (古文B ・β)	3年	1	高等学校改訂版 古典B 古文編 (第一学習社)	古文単語330(いいずな書店) 必携古典文法(啓隆社)

科目の目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。		
主な学習活動	1 授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめましょう。 <b>【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】</b> 2 テキストの読解や対話などの言語活動を通して思考を深め、判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。 <b>【批判的・論理的思考力】【表現力】</b> 3 課題意識を強く持ちつつ、対話を通して生まれた多様な読みを受容し視野を広めましょう。 <b>【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】</b> 4 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。 <b>【読解力】【進取の精神】</b> 5 授業で学習した内容と日常生活(身近な言語表現など)を関連づけ、言葉を意識して自ら学ぶ意欲を高めましょう。 <b>【進取の精神】</b>		
未来創造力	<b>知の基盤となる力</b> 社会で生きる知識・技能、読解力	<b>探究する力</b> 批判的・論理的思考力や創造力、表現力	<b>未来へ向かう力</b> 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・理解 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。	読む能力 古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	関心・意欲・態度 古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。
主な評価方法	・授業状況の観察 ・提出物への取り組み ・定期考査 ・小テスト	・授業状況の観察 ・提出物への取り組み ・定期考査 ・小テスト	・授業状況の観察 ・提出物への取り組み ・小テスト

## 古典 B(古文) 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
1	第Ⅱ章 説話 発心集 今物語 十訓抄  随筆(一) 枕草子	○説話を読んで、物語の中の和歌の修辞や場面ごとの役割を確認する。 ○登場人物の状況と、場面ごとの心情を正確に読み取る。  ○随筆を読み、人間、社会、自然などに対する筆者の思想や感情を読み取る。 ○2年次に学習した章段との関連を理解する。	○登場人物の行動の理由や心情について、自分の力で説明文を書く。 ○まとまった長さの説話を初見で読み、人物とその行動を把握する。  ○自らの考えと比較することで、ものの見方や感じ方の共通点や違いについて考える。
2 3	物語(一) 源氏物語  物語(二) 大鏡  評論(一)(二) 俊頼髓脳 無名草子 玉勝間	○2年次に学習した章段との関連を理解し、「源氏物語」についての知識を深める。 ○登場人物の行動や心情を読み味わう。  ○歴史物語を読み、登場人物の行動や心情を読み味わう。  ○歌論を読んで、和歌の評価や詠作の過程を理解する。 ○文学評論を読んで、物語の受容の仕方や、古典の時代における評価の仕方を読み味わう。 ○それぞれに出てくる古典作品について関心を持ち、調べたり読んだりする。  ○学問に対する宣長の考えを理解する。 ○宣長と兼好法師の考え方の相違を読み取り、宣長の思想を理解する。	○心情を表す語句や敬語に注目して、古語の知識を増やす。 ○戯曲的な構成を理解し、敬語や助動詞の知識を身につけ、現代語に訳す。 ○表現、和歌についての知識を整理し、心情と和歌がどのように密接に関わっているかを探る。 ○歌論を読み、実際に和歌を評価する。 ○文学評論を読んで、自らのものの見方、考え方と比較する。 ○全体を通して、それぞれの学習活動は単元ごとに4つの観点について評価される。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

## 指導と評価の年間指導計画 世界史B(世界史Bα)

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
世界史B (世界史Bα)	3年	5	改訂版 詳説 世界史B (山川出版社)	新詳世界史(浜島書店) 自作授業プリント

科目の目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。			
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現し、他者の意見を取捨選択して生かしていきましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】【自律の精神】 4 授業で学習した内容と日常生活(身近な社会問題など)を関連づけ、歴史を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】			
未来創造力	<b>知の基盤となる力</b> 社会で生きる知識・技能, 読解力		<b>探究する力</b> 批判的・論理的思考力, 創造力, 表現力	<b>未来へ向かう力</b> 自律の精神, 友愛の精神, 進取の精神
評価の観点 及び 評価規準	知識・理解	資料活用 of 技能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
	世界の歴史の展開についての基本的な事柄を、世界の他地域や日本の歴史と関連づけて総合的に理解し、その知識を身につけている。	世界の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	世界の歴史の展開から課題を見だし、日本の歴史と関連づけて多面的多角的に考察し、世界の文化と伝統の特色についての認識を深め、その過程や結果を適切に表現している。	世界の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。
主な評価方法	・授業プリント ・小テスト ・定期考査	・授業状況の観察 ・課題への取り組み ・定期考査	・課題への取り組み ・定期考査	・授業状況の観察 ・授業プリント ・小テスト ・課題への取り組み

## 世界史B(世界史Bα) 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主権国家体制の形成</li> <li>・17～18世紀のヨーロッパ文化</li> <li>・産業革命, アメリカの独立, フランス革命とナポレオン</li> <li>・ウィーン体制とヨーロッパ再編</li> <li>・アメリカ合衆国の発展</li> <li>・帝国主義諸国と列強の展開, 世界分割と列強対立</li> <li>・アジアの民族運動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イギリスを中心にアジア進出と産業革命や社会の産業化と国民国家の形成との関連について考え, 意義について考察する。</li> <li>・イギリスを中心にアジア進出と産業革命や, 社会の産業化と国民国家の形成との関連について考え, 意義について考察する。</li> <li>・イギリスを中心にアジア進出と産業革命や, 社会の産業化と国民国家の形成との関連について考え, 意義について判断している</li> <li>・アジアにおける民族運動の発展, 第一次世界大戦の原因について考え, 関連する諸事件の意義について考察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蘭学の学習にあたっては「世界史B」のオランダの歴史と関連させる。</li> <li>・開国や明治維新の学習にあたっては, 「政治経済」の資本主義の成立や産業革命, 市民革命の学習と関連させる。</li> <li>・明治政府の対外政策や日清・日露戦争の学習にあたっては「世界史B」の東アジアの学習と関連させる。</li> </ul>
2・3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次世界大戦とロシア革命</li> <li>・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国</li> <li>・世界恐慌とファシズム</li> <li>・第二次世界大戦</li> <li>・東西対立の始まり, 冷戦構造, 第三世界の自立</li> <li>・冷戦の解消と世界の多極化と地域紛争</li> <li>・現代文明</li> <li>(5) 歴史の説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次世界大戦の特質, 大衆社会の出現, アジアの民族運動の進展と第二次世界大戦の原因について考え, 諸事件の意義について判断している。</li> <li>・米ソ冷戦の開始と変遷, アジア・アフリカ諸国の独立, ヨーロッパ統合の歩みについて考え, それらの意義について考察する。</li> <li>・自らがこれからの歴史を創っていくことの意味について考え, 現代が直面する課題について考察する。</li> </ul> <p>○歴史的事象には複数の歴史的解釈が成り立つことに気づかせ, それぞれの根拠や論理を踏まえて, 論理的に整合性のある考えをすすめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会運動の学習にあたっては, 政治経済の民主主義・人権の学習と関連させる。</li> <li>・第二次世界大戦の学習にあたっては「世界史B」の第二次世界大戦の学習と関連させる。</li> <li>・戦後の学習にあたっては政治経済の国際連合の学習と関連させ, 現在のニュースを取り上げ歴史的な経緯をつかませる。</li> <li>・現代の問題点を取り上げる際は「政治経済」の現代の諸問題の学習と関連させる。</li> </ul>
状況によって計画を変更する場合があります。			

## 指導と評価の年間指導計画 日本史B(日本史Bα)

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
日本史B (日本史Bα)	3年	5	改訂版 詳説 日本史B (山川出版社)	学校自作プリント 改訂版新日本史史料集成(第一学習社) 新詳日本史(浜島書店)

科目の目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。			
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現し、他者の意見を取捨選択して生かしていきましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】【自律の精神】 4 授業で学習した内容と日常生活(身近な社会問題など)を関連づけ、歴史を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】			
未来創造力	<b>知の基盤となる力</b> 社会で生きる知識・技能, 読解力		<b>探究する力</b> 批判的・論理的思考力, 創造力, 表現力	<b>未来へ向かう力</b> 自律の精神, 友愛の精神, 進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・理解	資料活用 of 技能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身につけている。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、国際環境と関連づけて多面的・多角的に考察し、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。
主な評価方法	・授業ノート ・小テスト ・定期考査	・授業状況の観察 ・課題への取り組み ・定期考査	・課題への取り組み ・定期考査	・授業状況の観察 ・小テスト ・課題への取り組み

## 日本史B(日本史Bα) 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
1	<p>(1) 近世の日本と世界 ア 近世国家の形成 イ 産業社会の発展と幕藩体制の変容</p> <p>(2) 近代日本の形成と世界 ア 明治維新と立憲体制の成立 イ 国際関係の推移と立憲国家の展開 ウ 近代産業の発展と近代文化</p>	<p>○幕藩体制下での産業や交通の発展, 町人文化の形成, 欧米諸国のアジアへの進出, 学問・思想の動向に着目し, 近世における生活や文化の特色とその成立の背景, 幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成について理解を深め, 考察する。</p> <p>○開国と幕府の滅亡, 文明開化など欧米の文化・思想の影響や国際環境の変化, 自由民権運動と立憲体制の成立に着目して, 明治維新以降の近代化の推進過程について理解を深め, 考察する。</p> <p>○条約改正, 日清・日露戦争とその前後の国際関係の推移に着目して, 立憲国家形成に向けての展開について理解し, 考察する。</p> <p>○国民生活の向上と社会問題の発生, 近代文化の発展・拡充などに着目して, 産業の発展や近代文化の特色について考察する。</p>	<p>・蘭学の学習にあたっては「世界史B」のオランダの歴史と関連させる。</p> <p>・開国や明治維新の学習にあたっては, 「政治経済」の資本主義の成立や産業革命, 市民革命の学習と関連させる。</p> <p>・明治政府の対外政策や日清・日露戦争の学習にあたっては「世界史B」の東アジアの学習と関連させる。</p>
2・3	<p>(3) 両世界大戦期の日本と世界 ア 政党政治の発展と大衆社会の形成 イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会 ウ 第二次世界大戦と日本</p> <p>(4) 現代の日本と世界</p> <p>(5) 歴史の説明</p>	<p>○政治や社会運動の動向, 社会の変化及び文化の大衆化に着目して, 政党政治の発展, 大衆社会の特色について考察する。</p> <p>○国際社会の中の日本の立場に着目して, 第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦の経済・社会への影響について考察する。</p> <p>○国際社会の動向, 国内の政治と経済の動揺, 国際関係に着目して, 対外政策の推移と戦時体制の強化など日本の動向と第二次世界大戦との関わりについて理解し, 考察する。</p> <p>○現代の社会や国民生活の特色について国際環境と関連づけて考察し, 世界の中での日本の立場について認識を深める。</p> <p>○歴史的事象には複数の歴史的解釈が成り立つことに気づかせ, それぞれの根拠や論理を踏まえて, 論理的に整合性のある考えをすすめる。</p>	<p>・社会運動の学習にあたっては, 政治経済の民主主義・人権の学習と関連させる。</p> <p>・第二次世界大戦の学習にあたっては「世界史B」の第二次世界大戦の学習と関連させる。</p> <p>・戦後の学習にあたっては政治経済の国際連合の学習と関連させ, 戦後史は「世界史B」の内容とも関連させる。</p> <p>・現代の問題点を取り上げる際は「政治経済」の現代の諸問題の学習と関連させる。</p>
状況によって計画を変更する場合があります。			



## 指導と評価の年間指導計画 現代社会(現代社会α)

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
現代社会 (現代社会α)	3年	1	現代社会 (東京書籍)	現代社会要点サブノート(東京書籍) 自作復習プリント

科目の目標	人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会の基本的な問題と、人間としての在り方生き方について主体的に考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身に付ける。			
学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現し、他者の意見を取捨選択して生かしていきましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう【読解力】【進取の精神】【自律の精神】 4 授業で学習した内容と日常生活(身近な社会問題など)を関連づけ、歴史を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】			
未来創造力	<b>知の基盤となる力</b> 社会で生きる知識・技能、読解力	<b>探究する力</b> 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	<b>未来へ向かう力</b> 自律の精神、友愛の精神、進取の精神	
評価の観点及び評価規準	知識・理解	資料活用の技能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
	現代社会についての基本的な事柄を、世界の他地域や日本の歴史と関連づけて総合的に理解し、その知識を身につけている	現代社会に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	現代社会から課題を見だし、日本の歴史と関連づけて多面的多角的に考察し、世界の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代社会に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業ノート</li> <li>・小テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業状況の観察</li> <li>・課題への取り組み</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題への取り組み</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業状況の観察</li> <li>・授業ノート</li> <li>・小テスト</li> <li>・課題への取り組み</li> </ul>

現代社会(現代社会α) 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
1	①哲学と人間  ②宗教と人間	○よく生きることを追及したソクラテス・プラトン, アリストテレスの思想, 心の持ち方やよりよい生き方を求めた孔子などの儒家, 老子や荘子などの道家の思想を理解する。  ○宗教の意味について知るとともに, 三大世界宗教と呼ばれている仏教, キリスト教, イスラム教の人間観や教えを理解する。	○それぞれの思想に共通している点と異なっている点について考える。  ○世界三大宗教が人間をどのようにとらえ, 救いはどのようにもたらされるととらえているかなどについて比較しながら考える。
2・3	③近代科学の考え方  ④人間の尊厳  ⑤人間性の回復を求めて  ⑥日本の伝統思想の考え方  ⑦外来思想の受容と日本人の自覚	○ルネサンス以降の思想やベーコン, デカルトのものの考え方を学習することによって, 近代の人間中心主義, 合理的なものの考え方を理解する。  ○人間の尊厳を理性の働きによって説明したカントや理性の社会における具体化を主張したヘーゲル, 幸福と正義の関わりを考えたアダム・スミス, ベンサム, J.S.ミルの思想について理解する。  ○近代の合理主義を批判し, 社会の仕組みの改革を主張したマルクスの社会主義, 人間の主体性の回復を求めた実存主義, その他主な現代思想の特色について理解する。  ○「おのずから」でとらえる日本人のものの考え方, 八百万の神に示される神のとらえ方, 清き明き心などの日本人の倫理観について理解する。  ○江戸期における儒教や国学の考え方の特色を学ぶとともに, 明治以降に西洋思想をどのように受容したのか, またそこから生まれた創造的な思想について理解する。	○人間の理性の働きを重視する近代のものの考え方について理解する。  ○自由や幸福という視点から, 思想を比較して考える。  ○近代における理性の信頼とその後の合理主義への反省の流れを整理する。  ○日常の言葉遣いに日本的なものの考え方が示されていないか考える。  ○外来思想の受容という点から儒教, 国学, 明治期の思想を整理する。
状況によって計画を変更する場合があります。			

## 指導と評価の年間指導計画 政治・経済(政治・経済α)

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
政治・経済 (政治・経済α)	3年	2	政治経済 (第一学習社)	最新図説 現社(浜島書店) 自作復習プリント

科目の目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代社会における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。			
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現し、他者の意見を取捨選択して生かしていきましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】【自律の精神】 4 授業で学習した内容と日常生活(身近な社会問題など)を関連づけ、歴史を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】			
未来創造力	<b>知の基盤となる力</b> 社会で生きる知識・技能, 読解力	<b>探究する力</b> 批判的・論理的思考力, 創造力, 表現力	<b>未来へ向かう力</b> 自律の精神, 友愛の精神, 進取の精神	
評価の観点及び評価規準	知識・理解	資料活用 of 技能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
	政治経済についての基本的な事柄を, 世界の他地域や日本の歴史と関連づけて総合的に理解し, その知識を身につけている。	政治経済に関する諸資料を収集し, 有用な情報を適切に選択して, 読み取ったり図表などにまとめたりしている。	政治経済に対する課題を見だし, 日本の歴史と関連づけて多面的多角的に考察し, 世界の文化と伝統の特色についての認識を深め, 国際社会の変化を踏まえ公正に判断して, その過程や結果を適切に表現している。	政治経済に対する関心と課題意識を高め, 意欲的に追究するとともに国際社会に主体的に生き, 国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。
主な評価方法	・授業ノート ・小テスト ・定期考査	・授業状況の観察 ・課題への取り組み ・定期考査	・課題への取り組み ・定期考査	・授業状況の観察 ・授業ノート ・課題への取り組み

政治・経済(政治・経済α) 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
1	<p>経済活動と経済社会の発達, 資本主義経済の一般的特徴, 企業と市場機構, 国民所得と経済成長, 金融のしくみ, 財政のしくみ</p> <p>日本経済の発達と産業構造の変化, 日本の中小企業と農業, 環境保全と公害の防止, 労使関係と労働条件の改善, 社会保障の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済活動における基本的なしくみ, 経済体制について理解させ, 経済社会の発達を考察させる。現代の経済社会における技術革新と産業構造の変化, 企業の働き, 市場の寡占化の動きを理解させる。</li> <li>・戦後の日本経済を振り返るとともに, 現在日本が直面する経済の諸課題を実態に即しながら理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の経済活動においては「日本史 B」, 国際的な経済活動に対しては「世界史 B」と関連させる。</li> </ul>
2・3	<p>商品・資本の流れと国際収支, 資本主義世界経済の展開, 発展途上国の経済, 日本経済の国際化</p> <p>住民生活と地方自治, 情報化の進展と市民生活, 大きな政府と小さな政府, 産業構造の変化と中小企業, 農業・農村と食料・環境問題, 消費者問題と消費者保護, 公害と環境政策, 労使関係と労働市場, 少子高齢社会と社会保障, 地球環境問題, 人種・民族問題, 核兵器と軍縮など</p> <p>政治経済の説明</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際経済の仕組みを理解し, その中で日本がどのような役割を果たしているか考える。</li> <li>・問題の所在をあきらかにし, 政治と経済を関連させながら問題についてどう考え, どう対処していけばよいのか, 追究していくなかで, 公民としての態度と能力を育てる。</li> <li>・政治経済の様々な事象には複数の歴史的解釈が成り立つことに気づかせ, それぞれの根拠や論理を踏まえて, 論理的に整合性のある考えをすすめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会の中で日本の経済がどのように他国と関係し, 経済発展に貢献しているか考えさせて理解を深める。</li> <li>・現代の問題点を取り上げる際は科目内容に関連する新聞・ニュースを取り上げて人類諸課題を考えさせる。</li> </ul>
状況によって計画を変更する場合があります。			



## 指導と評価の年間指導計画 地理B(速解地理Bα)

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
地理B (速解地理Bα)	3年	3	新詳地理B (帝国書院) 新詳高等地図帝 国書院編集部 (帝国書院)	新編地理資料2022(東京法令出版) 記入整理と演習スタディーノート地理B(数研出版) データブックオブ・ザ・ワールド2022年版 - 世界各国要覧と最新統計- (二宮書店)

科目の目標	現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。			
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的にプリントの余白などへ自分なりに理解した内容を整理し、まとめる。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 授業の中で質問や課題に対して、仲間と議論や確認を仕ながら思考や判断をしていき自らの考えを根拠に基づいて表現し、構成していく。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 授業を中心に集中して取り組み、家庭学習や隙間時間で短時間での授業の振り返りをする。【読解力】【進取の精神】【自律の精神】 4 授業の内容と世界の現状や日常生活を照らし合わせることで、より世界を理解する。【批判的・論理的思考力】			
未来創造力	<b>知の基盤となる力</b> 社会で生きる知識・技能、読解力		<b>探究する力</b> 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	<b>未来へ向かう力</b> 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・理解	資料活用 の技能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
	世界の事象を考察するための基本的知識を身につけている。	地球儀や地図の活用、観察や調査、統計、画像、文献などの地理情報の収集、選択、処理、諸資料の地理情報化や地図化などの方法を身につけている。	地理的事象にはどのような空間的な規則性や傾向性がみられるのか、地理的事象を距離や空間的な配置に留意してとらえている。	地理的事象がなぜそこでどのようにみられるのか、また、なぜそのように分布したり移り変わったりするのか、人間の営みとのかかわりに着目して追究し、とらえている。
主な評価方法	・授業ノート ・小テスト ・定期考査	・授業状況の観察 ・課題への取り組み ・定期考査	・課題への取り組み ・定期考査	・授業状況の観察 ・授業ノート ・小テスト ・課題への取り組み

地理B(速解地理Bα) 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
I	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 2章 資源と産業 3章 人口, 村落・都市	<p>○第3次産業について, その特徴や発展の背景, 地域差などをとらえるとともに, 世界と日本の観光業の特徴を考察する。</p> <p>○現代世界の貿易と経済圏について, 進展する国際分業の現状と課題, 貿易の自由化と経済連携の動向を考察する。また, 現代世界における日本の貿易の現状と課題を考察する。</p> <p>○人口問題について, 世界の人口問題を大観し, 発展途上国と先進国のそれぞれについて, その要因や対策をとらえる。また, 日本の人口問題の課題と解決への取り組みを考察する。</p> <p>○都市・居住問題について, 世界の都市・居住問題を大観し, 発展途上国と先進国のそれぞれについて, その要因や対策をとらえる。また, 日本の都市・居住問題の課題と解決への取り組みを考察する。</p>	<p>・各分野・学習内容において単語や事象といった知識を元にして得た原理原則の考え方をを用いて, グループワークで考える思考する時間を取り入れる。</p> <p>・身近な日頃の日常生活に散らばる地理的な知識・事象を各所に取り入れて理解の向上を図る。</p>
2・3	4章 生活文化, 民族・宗教 Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 1章 現代世界の地域区分 2章 現代世界の地域区分 3章 現代世界と日本	<p>○民族と宗教について, 民族と言語, 世界の宗教の分布や特徴, 生活とのかかわりについて考察する。</p> <p>○国・地域ごとの地域区分と考察の方法について理解する。</p> <p>○各国・地域ごとの自然環境, 文化, 人口, 農業, 工業, という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また, 日本との結びつきを考察し, 地域的特色への理解を深める。</p> <p>○現代世界において日本が抱える地理的な諸課題について, 多面的・多角的に考察し, 探究する活動を通して, その解決の方向性や将来像について考察する。</p>	<p>・世界や日本の民族・文化を構成する言語・宗教という観点を踏まえた学習をする。</p> <p>・既習内容を各国・地域の特徴としてまとめていくことが中心となるため, 自主的に先行してまとめていくことが可能である。</p> <p>・現代の問題点を取り上げる際はグローバル化と諸問題の関係性と未来に向けての視点を重視する。</p>
状況によって計画を変更する場合があります。			

## 指導と評価の年間指導計画 地理B(地理Bβ)

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
地理B (地理Bβ)	3年	4	新詳地理B (帝国書院) 新詳高等地図帝国 書院編集部 (帝国書院)	新編地理資料2022(東京法令出版) 記入整理と演習スタディーノート地理B(数研出版) データブックオブ・ザ・ワールド2022年版 - 世界各国要覧と最新統計- (二宮書店)

科目の目標	現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。			
主な 学習活動	1 講義型の授業では、主体的にプリントの余白などへ自分なりに理解した内容を整理し、まとめる。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 授業の中で質問や課題に対して、仲間と議論や確認を仕ながら思考や判断をしていき自らの考えを根拠に基づいて表現し、構成していく。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 授業を中心に集中して取り組み、家庭学習や隙間時間で短時間での授業の振り返りをする。【読解力】【進取の精神】【自律の精神】 4 授業の内容と世界の現状や日常生活を照らし合わせることで、より世界を理解する。【批判的・論理的思考力】			
未来創造力	<b>知の基盤となる力</b> 社会で生きる知識・技能, 読解力	<b>探究する力</b> 批判的・論理的思考力, 創造力, 表現力	<b>未来へ向かう力</b> 自律の精神, 友愛の精神, 進取の精神	
評価の観点 及び 評価規準	知識・理解	資料活用 of 技能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
	世界の事象を考察するための基本的知識を身につけている。	地球儀や地図の活用, 観察や調査, 統計, 画像, 文献などの地理情報の収集, 選択, 処理, 諸資料の地理情報化や地図化などの方法を身につけている。	地理的事象にはどのような空間的な規則性や傾向性がみられるのか, 地理的事象を距離や空間的な配置に留意してとらえている。	地理的事象がなぜそこでそのようにみられるのか, また, なぜそのように分布したり移り変わったりするのか, 人間の営みとのかかわりに着目して追究し, とらえている。
主な 評価方法	・授業ノート ・小テスト ・定期考査	・授業状況の観察 ・課題への取り組み ・定期考査	・課題への取り組み ・定期考査	・授業状況の観察 ・授業ノート ・小テスト ・課題への取り組み

## 地理B(地理Bβ) 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
I	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 2章 資源と産業 3章 人口, 村落・都市	○資源・エネルギー問題について, 世界と日本の資源・エネルギー問題を大観し, 問題の原因や近年の動向, 問題解決の取り組みを考察する。また, 日本が抱える資源・エネルギー問題を考察する。 ○世界の工業について, 工業の発達過程や種類, 立地とその変化, 現状と課題を考察する。また, 日本の工業の特徴と課題を考察する。 ○人口問題について, 世界の人口問題を大観し, 発展途上国と先進国のそれぞれについて, その要因や対策をとらえる。また, 日本の人口問題の課題と解決への取り組みを考察する。 ○都市・居住問題について, 世界の都市・居住問題を大観し, 発展途上国と先進国のそれぞれについて, その要因や対策をとらえる。また, 日本の都市・居住問題の課題と解決への取り組みを考察する。	・各分野・学習内容において単語や事象といった知識を元にして得た原理原則の考え方をを用いて, グループワークで考える思考する時間を取り入れる。 ・身近な日頃の日常生活に散らばる地理的な知識・事象を各所に取り入れて理解の向上を図る。
2・3	4章 生活文化, 民族・宗教 Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 1章 現代世界の地域区分 2章 現代世界の地域区分 3章 現代世界と日本	○民族と宗教について, 民族と言語, 世界の宗教の分布や特徴, 生活とのかかわりについて考察する。 ○国・地域ごとの地域区分と考察の方法について理解する。 ○各国・地域ごとの自然環境, 文化, 人口, 農業, 工業, という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また, 日本との結びつきを考察し, 地域的特色への理解を深める。 ○現代世界において日本が抱える地理的な諸課題について, 多面的・多角的に考察し, 探究する活動を通して, その解決の方向性や将来像について考察する。	・世界や日本の民族・文化を構成する言語・宗教という観点を踏まえた学習をする。 ・既習内容を各国・地域の特徴としてまとめていくことが中心となるため, 自主的に先行してまとめていくことが可能である。 ・現代の問題点を取り上げる際はグローバル化と諸問題の関係性と未来に向けての視点を重視する。
状況によって計画を変更する場合があります。			

## 指導と評価の年間指導計画 標準数学Ⅱα

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
数学Ⅱ (標準数学Ⅱα)	3年	3	改訂版新編数学Ⅱ (数研出版)など	ベーシックスタイル数学演習ⅠAⅡB(数研出版) 共通テスト対策用問題集

科目の目標	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。			
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】 4 授業で学習した内容と日常生活を関連づけ、事象を数理的にとらえることで、数学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】			
未来創造力	<b>知の基盤となる力</b> 社会で生きる知識・技能、読解力		<b>探究する力</b> 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	<b>未来へ向かう力</b> 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・理解	数学的な技能	数学的な見方や考え方	関心・意欲・態度
	主に大学入試問題を解くことを通じて、数学的の基本的な概念や原理・法則・用語・記号などを理解し、知識を身につけることができる。	主に大学入試問題を解くことを通じて、数学的な考え方を解答に表現し処理することができる。また、推論の方法を身につけ、よりよく問題を解決することができる。	主に大学入試問題を解くことを通じて、数学的な見方や考え方を身につけ事象を数学的にとらえることができる。論理的に考えると共に、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることができる。	主に大学入試問題を解くことを通じて、問題解決に意欲的に取り組もうとする。
主な評価方法	・定期考査 ・課題考査	・授業状況の観察 ・定期考査	・授業状況の観察 ・定期考査	・授業状況の観察 ・小テスト ・課題への取り組み

## 標準数学Ⅱ α 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
1	数学問題演習	数学ⅡB分野の入試の基本問題を単元別に解き、教科書の内容を復習するとともに、共通テストを解く基本を身につける。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。
2 3	共通テスト対策問題演習	数学ⅠAⅡBの総合問題を解くことにより、共通テストに対応できる応用力を身につける。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。
状況によって計画を変更する場合があります。			

## 指導と評価の年間指導計画 標準数学Ⅲβ

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
数学Ⅲ (標準数学Ⅲβ)	3年	3	改訂版新編数学Ⅲ (数研出版)	教科書傍用クリアー数学Ⅲ(数研出版) チャート式基礎からの数学Ⅲ(数研出版)

科目の目標	複素数平面, 微分法及び積分法についての理解を深め, 知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに, それらを積極的に活用する態度を育てる。			
主な学習活動	1 講義型の授業では, 主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し, まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 対話型の授業では, 思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り, 問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】 4 授業で学習した内容と日常生活を関連づけ, 事象を数理的にとらえることで, 数学を身近に感じ, 自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】			
未来創造力	<b>知の基盤となる力</b> 社会で生きる知識・技能, 読解力	<b>探究する力</b> 批判的・論理的思考力, 創造力, 表現力	<b>未来へ向かう力</b> 自律の精神, 友愛の精神, 進取の精神	
評価の観点及び評価規準	知識・理解	数学的な技能	数学的な見方や考え方	関心・意欲・態度
	複素数平面, 微分法及び積分法における基本的な概念, 原理・法則などを体系的に理解し, 知識を身に付けている。	複素数平面, 微分法及び積分法において, 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技術を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり, 思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して, 複素数平面と微分法及び積分法における数学的な見方や考え方を身に付けている。	複素数平面, 微分法及び積分法に関心をもつとともに, それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
主な評価方法	・定期考査 ・課題考査	・授業状況の観察 ・定期考査	・授業状況の観察 ・定期考査	・授業状況の観察 ・小テスト ・課題への取り組み

## 標準数学Ⅲβ 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
Ⅰ	(ア) 複素数平面 (イ) 微分法の応用 (ウ) 積分法とその応用	(ア) 複素数平面について理解し, それらを事象の考察に活用できるようにする。 (イ) 導関数を用いて, いろいろな曲線の接線の方程式を求めたり, いろいろな関数の値の増減, 極大・極小, グラフの凹凸などを調べグラフの概形をかいたりする。また, それらを事象の考察に活用する。 (ウ) 積分法についての理解を深めるとともに, その有用性を認識し, 事象の考察に活用できるようにする。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。
状況によって計画を変更する場合があります。			

## 指導と評価の年間指導計画 数学特講(β)

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
数学特講 (β)	3年	3		メジアン数学演習 I A II B (数研出版)

科目の目標	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。			
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】 4 授業で学習した内容と日常生活を関連づけ、事象を数理的にとらえることで、数学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】			
未来創造力	<b>知の基盤となる力</b> 社会で生きる知識・技能、読解力	<b>探究する力</b> 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	<b>未来へ向かう力</b> 自律の精神、友愛の精神、進取の精神	
評価の観点及び評価規準	知識・理解	数学的な技能	数学的な見方や考え方	関心・意欲・態度
	主に大学入試問題を解くことを通じて、数学的の基本的な概念や原理・法則・用語・記号などを理解し、知識を身につけることができる。	主に大学入試問題を解くことを通じて、数学的な考え方を解答に表現し処理することができる。また、推論の方法を身につけ、よりよく問題を解決することができる。	主に大学入試問題を解くことを通じて、数学的な見方や考え方を身につけ事象を数学的にとらえることができる。論理的に考えると共に、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることができる。	主に大学入試問題を解くことを通じて、問題解決に意欲的に取り組もうとする。
主な評価方法	・定期考査 ・課題考査	・授業状況の観察 ・定期考査	・授業状況の観察 ・定期考査	・授業状況の観察 ・小テスト ・課題への取り組み

## 数学特講(β) 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
I	数学問題演習	主に大学入試問題を使用して, 学習した内容をさらに深く探求し理解すると共に, 問題解決の技能を習得する。	单元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。
状況によって計画を変更する場合があります。			

## 指導と評価の年間指導計画 標準数学研究 $\alpha$

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
数学研究 (標準数学研究 $\alpha$ )	3年	3	改訂版新編数学Ⅱ (数研出版)など	ベーシックスタイル数学演習ⅠAⅡB(数研出版) 共通テスト対策用問題集

科目の目標	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。			
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】 4 授業で学習した内容と日常生活を関連づけ、事象を数理的にとらえることで、数学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】			
未来創造力	<b>知の基盤となる力</b> 社会で生きる知識・技能、読解力		<b>探究する力</b> 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	<b>未来へ向かう力</b> 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・理解	数学的な技能	数学的な見方や考え方	関心・意欲・態度
	主に大学入試問題を解くことを通じて、数学的の基本的な概念や原理・法則・用語・記号などを理解し、知識を身につけることができる。	主に大学入試問題を解くことを通じて、数学的な考え方を解答に表現し処理することができる。また、推論の方法を身につけ、よりよく問題を解決することができる。	主に大学入試問題を解くことを通じて、数学的な見方や考え方を身につけ事象を数学的にとらえることができる。論理的に考えると共に、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることができる。	主に大学入試問題を解くことを通じて、問題解決に意欲的に取り組もうとする。
主な評価方法	・定期考査 ・課題考査	・授業状況の観察 ・定期考査	・授業状況の観察 ・定期考査	・授業状況の観察 ・小テスト ・課題への取り組み

## 標準数学研究 $\alpha$ 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
1	数学問題演習	数学 I A 分野の入試の基本問題を単元別に解き, 教科書の内容を復習するとともに, 共通テストを解く基本を身につける。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。
2 3	共通テスト対策問題演習	数学 I A II B の総合問題を解くことにより, 共通テストに対応できる応用力を身につける。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。
状況によって計画を変更する場合があります。			

## 指導と評価の年間指導計画 標準数学研究β

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
数学研究 (標準数学研究β)	3年	4		メジアン数学演習ⅠAⅡB(数研出版) クリアー数学Ⅲ[受験編](数研出版) 共通テスト対策用問題集

科目の目標	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。			
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】 4 授業で学習した内容と日常生活を関連づけ、事象を数理的にとらえることで、数学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】			
未来創造力	<b>知の基盤となる力</b> 社会で生きる知識・技能、読解力	<b>探究する力</b> 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	<b>未来へ向かう力</b> 自律の精神、友愛の精神、進取の精神	
評価の観点及び評価規準	知識・理解	数学的な技能	数学的な見方や考え方	関心・意欲・態度
	主に大学入試問題を解くことを通じて、数学的の基本的な概念や原理・法則・用語・記号などを理解し、知識を身につけることができる。	主に大学入試問題を解くことを通じて、数学的な考え方を解答に表現し処理することができる。また、推論の方法を身につけ、よりよく問題を解決することができる。	主に大学入試問題を解くことを通じて、数学的な見方や考え方を身につけ事象を数学的にとらえることができる。論理的に考えると共に、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることができる。	主に大学入試問題を解くことを通じて、問題解決に意欲的に取り組もうとする。
主な評価方法	・定期考査 ・課題考査	・授業状況の観察 ・定期考査	・授業状況の観察 ・定期考査	・授業状況の観察 ・小テスト ・課題への取り組み

## 標準数学研究β 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
2 3	数学問題演習	主に大学入試問題を使用して, 学習した内容をさらに深く探求し理解すると共に, 問題解決の技能を習得する。	单元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。
状況によって計画を変更する場合があります。			

## 指導と評価の年間指導計画 化学β

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
化学 (化学β)	3年	5	改訂版 化学 (第一学習社)	アクセス 総合化学(浜島書店) 化学実験と考察(岡山県高等学校理科協議会)

科目の目標	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。			
主な学習活動	<p>1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。 【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】</p> <p>2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。 【批判的・論理的思考力】【表現力】</p> <p>3 観察・実験型の授業では、課題意識を強く持ち、グループ内で協力して、観察・実験を通して考察ができるように主体的に取り組みましょう。 【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】</p> <p>4 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。 【読解力】【進取の精神】</p> <p>5 授業で学習した内容と日常生活(身近な環境問題など)を関連づけ、科学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。 【進取の精神】</p>			
未来創造力	<b>知の基盤となる力</b> 社会で生きる知識・技能, 読解力	<b>探究する力</b> 批判的・論理的思考力, 創造力, 表現力	<b>未来へ向かう力</b> 自律の精神, 友愛の精神, 進取の精神	
評価の観点及び評価規準	知識・理解	観察, 実験の技能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	観察, 実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録, 整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	自然の事物・現象に関心や探求心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
主な評価方法	・授業ノート ・定期考査	・授業状況の観察 ・実験レポート ・定期考査	・実験レポート ・定期考査	・授業状況の観察 ・ノート ・小テスト ・課題への取り組み

## 化学β 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
1	(3) 無機物質の性質と利用 ア 無機物質 イ 無機物質と人間生活	○非金属元素とその化合物の性質と利用に関して探究活動を行い、理解を深めるとともに化学的に探究する能力を高める。 ○金属元素とその化合物の性質と利用に関して探究活動を行い、理解を深めるとともに化学的に探究する能力を高める。また、遷移元素の単体と化合物の性質や反応について理解する。 ○無機物質が、その特徴を生かして人間生活の中で利用されている事を理解する。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~5)を行う。 実験 14 ハロゲン 実験 18 窒素酸化物と硝酸 実験 19 アルカリ金属 実験 20 アルカリ土類金属 実験 21 アルミニウム・亜鉛 実験 22 鉄 実験 23 銅・銀 実験 24 金属イオンの反応と分離
2・3	(4) 有機化合物の性質と利用 ア 有機化合物 イ 有機化合物と人間生活	○有機化合物の性質や反応を観察、実験などを通して探究し、有機化合物の分類と特徴を理解する。 ○脂肪族炭化水素や酸素を含む脂肪族化合物の性質や反応について分類し、特徴を理解する。 ○有機化合物の構造決定の方法について理解する。特に脂肪族炭化水素の性質や反応を構造と関連して理解する。 ○芳香族化学物の構造、性質および反応について理解する。 ○有機化合物が、その特徴を生かして人間生活の中で利用されている事を理解する。有機化合物の性質と利用に関して探究活動を行い、理解を深めるとともに化学的に探究する能力を高める。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~5)を行う。 実験 26 炭化水素 実験 27 アルデヒド 実験 28 カルボン酸・エステル 実験 29 セッケン 実験 30 フェノール類 実験 31 ニトロベンゼン・アニリン 実験 33 アゾ染料
	(5) 高分子化合物の性質と利用 ア 高分子化合物 イ 高分子化合物と人間生活	○高分子化合物の性質や反応を観察、実験を通して探究し、その特徴を理解する。 ○合成高分子化合物の構造や性質および合成について理解する。 ○天然高分子化合物の構造や性質について理解する。植生について、その構造や遷移とそのしくみについて理解する。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~5)を行う。 実験 34 グルコース・デンプン 実験 35 タンパク質・アミノ酸 実験 37 高分子化合物の合成 実験 40 医薬品の合成
備考	状況によって計画を変更する場合があります。5 単位のうち 1 単位分を 2 つの習熟度別講座(発展的な問題演習に取り組む講座、標準的な問題の復習に取り組む講座)に分けて学習を深めます。		

## 指導と評価の年間指導計画 化学研究α

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
化学研究 (化学研究α)	3年	2	高等学校 改訂版 化学基礎 (第一学習社)	Let'sTryNote 化学基礎 Vol.1-3(東京書籍) 化学実験と考察(岡山県高等学校理科協議会)

科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。			
主な学習活動	<p>1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。 【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】</p> <p>2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。 【批判的・論理的思考力】【表現力】</p> <p>3 観察・実験型の授業では、課題意識を強く持ち、グループ内で協力して、観察・実験を通して考察ができるように主体的に取り組みましょう。 【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】</p> <p>4 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。 【読解力】【進取の精神】</p> <p>5 授業で学習した内容と日常生活(身近な環境問題など)を関連づけ、科学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。 【進取の精神】</p>			
未来創造力	<b>知の基盤となる力</b> 社会で生きる知識・技能, 読解力	<b>探究する力</b> 批判的・論理的思考力, 創造力, 表現力	<b>未来へ向かう力</b> 自律の精神, 友愛の精神, 進取の精神	
評価の観点 及び 評価規準	知識・理解	観察, 実験の技能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	観察, 実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	自然の事物・現象に関心や探求心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
主な評価方法	・授業ノート ・定期考査	・授業状況の観察 ・実験レポート ・定期考査	・実験レポート ・定期考査	・授業状況の観察 ・ノート ・小テスト ・課題への取り組み

## 化学研究α 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
1	(1) 化学と人間生活 ア 化学と人間生活 とのかわり イ 物質の探究 ウ 化学と人間生活に 関する探究活動	○物質は混合物と純物質, 化合物と単体などに分類されることを学習する。 ○元素について学習し, 同素体の存在を理解する。 ○物質の三態と熱について学習する。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~5)を行う。  実験5 成分元素の確認
2・3	(2) 物質の構成 ア 物質の構成粒子 イ 物質と化学結合 ウ 物質の構成に 関する探究活動	○原子や分子, イオンと化学結合について, 分子の成り立ちを学習するとともに, 各種の結晶の性質や粒子間の相互作用について学習する。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~5)を行う。  実験6 アルカリ金属の性質
	(3) 物質の変化 ア 物質と化学反 応式 イ 化学反応 ウ 物質の変化に 関する探究活動	○物質や化学反応における量的な関係や, 物質の状態変化, 気体分子の運動と気体の圧力との関係について学習する。  ○酸化還元反応や中和反応の変化や量的関係について, 化学基礎と化学で扱う題材を融合させ学習する。また, 代表的な実験に取り組みながら学習を深める。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~5)を行う。  実験7 気体 1 mol の占める体積 実験11 中和滴定曲線 実験14 酸化還元滴定 実験16 電池
	(4) 無機物質の性質と 利用 ア 無機物質 イ 無機物質と人間 生活	○無機化合物に関して, 化学基礎と化学の範囲を融合させて, 元素群ごとに性質やその反応について学習する。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~5)を行う。  実験 ハロゲン 実験 硫酸 実験 窒素酸化物と硝酸
	(5) 有機化合物の性 質と利用 ア 有機化合物 イ 有機化合物と人間 生活	○有機化合物に関して, 化学基礎と化学の範囲を融合させて, 化合物群ごとに性質やその反応について学習する。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~5)を行う。  実験 炭化水素 実験 アルデヒド 実験 カルボン酸・エステル 実験 セッケン 実験 アゾ染料
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

## 指導と評価の年間指導計画 生物β

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
生物 (生物β)	3年	5	改訂 高等学校 生物 (第一学習社)	必修整理ノート生物 改訂版(文英堂) セミナー生物基礎+生物(第一学習社) ニューステージ新生物図表(浜島書店) 生物の実習(岡山県高等学校理科協議会)

科目の目標	生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。			
主な 学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 観察・実験型の授業では、課題意識を強く持ち、グループ内で協力して、観察・実験を通して考察ができるように主体的に取り組みましょう。【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】 4 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】 5 授業で学習した内容と日常生活(身近な環境問題など)を関連づけ、科学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】			
未来創造力	<b>知の基盤となる力</b> 社会で生きる知識・技能、読解力	<b>探究する力</b> 批判的・論理的思考力、 創造力、表現力	<b>未来へ向かう力</b> 自律の精神、友愛の精神、 進取の精神	
評価の観点 及び 評価規準	知識・理解	観察、実験の技能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
主な 評価方法	・授業ノート ・定期考査	・授業状況の観察 ・実験レポート ・定期考査	・実験レポート ・定期考査	・授業状況の観察 ・ノート ・小テスト ・課題への取り組み

## 生物β 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
1	(2) 生殖と発生 ア 有性生殖 イ 動物の発生 ウ 植物の発生 エ 生殖と発生に関する探究活動  (3) 生物の環境応答 ア 動物の反応と行動 イ 植物の環境応答 ウ 生物の環境応答に関する探究活動	○生物の生殖や発生について観察, 実験などを通して探究し, 動物と植物の配偶子形成から形態形成までの仕組みを理解する。  ○生殖と発生に関する探究活動を行い, 学習内容の理解を深めるとともに, 生物学的に探究する能力を高める。  ○環境の変化に生物が反応していることについて観察, 実験などを通して探究し, 生物個体が外界の変化を感知し, それに反応する仕組みを理解する。  ○生物の環境応答に関する探究活動を行い, 学習内容の理解を深めるとともに, 生物学的に探究する能力を高める。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~5)を行う。  実習 27 減数分裂 実習 29 ウニの受精と発生  実習 31 ヒトの視覚 実習 プタの頭部の解剖 実習 35 迷路によるヒトの学習
2・3	(4) 生態と環境 ア 個体群と生物群集 イ 生態系 ウ 生態と環境に関する探究活動  (5) 生物の進化と系統 ア 生物の進化の仕組み イ 生物の系統 ウ 生物の進化と系統に関する探究活動	○生物の個体群と群集及び生態系について観察, 実験などを通して探究し, それらの構造や変化の仕組みを理解し, 生態系のバランスや生物多様性の重要性について認識する。  ○生態系と環境に関する探究活動を行い, 学習内容に理解を深めるとともに, 生物学的に探究する能力を高める。  ○生物の進化の過程とその仕組み及び生物の系統について, 観察, 実験などを通して探究し, 生物界の多様性と系統を理解し, 進化についての考え方を身に付ける。  ○生物の進化と系統に関する探究活動を行い, 学習内容の理解を深めるとともに, 生物学的に探究する能力を高める。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~5)を行う。  実習 37 生存曲線 実習 38 成長曲線  単元ごとに前述の多様な学習活動(1~5)を行う。  実習 分子系統樹の作成
備考	状況によって計画を変更する場合があります。5 単位のうち 1 単位分を 2 つの習熟度別講座(発展的な問題演習に取り組む生徒, 標準的な問題の復習に取り組む生徒)に分けて学習を深めます。		

## 指導と評価の年間指導計画 生物研究α

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
生物研究 (生物研究α)	3年	2	改訂 高等学校 生物基礎 (第一学習社)	リードLightノート生物基礎(数研出版) セミナー生物基礎(第一学習社) ニューステージ新生物図表(浜島書店) 岡山県 生物の実習(岡山県高等学校理科協議会) 学校自作ノート

科目の目標	「生物基礎」で学習した生物学の基本的な概念や原理・法則をもとに、生物現象の内容理解をさらに深めるため、特定の項目において科目「生物」の学習内容を取り入れる。また、発展的な実験・実習を行い、生物や生物現象に対する探究心を高め、科学的な自然観を育成する。			
主な学習活動	<p>1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】</p> <p>2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】</p> <p>3 観察・実験型の授業では、課題意識を強く持ち、グループ内で協力して、観察・実験を通して考察ができるように主体的に取り組みましょう。【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】</p> <p>4 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】</p> <p>5 授業で学習した内容と日常生活(身近な環境問題など)を関連づけ、科学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】</p>			
未来創造力	<b>知の基盤となる力</b> 社会で生きる知識・技能, 読解力	<b>探究する力</b> 批判的・論理的思考力, 創造力, 表現力	<b>未来へ向かう力</b> 自律の精神, 友愛の精神, 進取の精神	
評価の観点 及び 評価規準	知識・理解	観察, 実験の技能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	生物や生物現象に関する観察, 実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する能力を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方考え方を身に付けている。
主な評価方法	・授業ノート ・定期考査	・授業状況の観察 ・定期考査 ・レポート	・定期考査	・授業状況の観察 ・ノート ・小テスト ・課題への取り組み

## 生物研究α 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
1	ガイダンス (1)細胞とエネルギー ア 細胞・組織 イ 酵素 ウ 呼吸 エ 光合成  (2) 遺伝情報の発現 ア 遺伝子と染色体 イ 遺伝情報とその発現 ウ 遺伝子の発現調節 エ バイオテクノロジー	○すべての生物に共通する特性である「代謝」について、生物基礎で学習した内容に加えて細胞構造のはたらきや酵素が関わる反応であることを理解させ、内容理解を深めることができるように展開する。さらに、代謝の代表的な反応である呼吸や光合成のしくみを学習することで「代謝」に関わる統合的なしくみを理解する。  ○すべての生物はさまざまな方法で、次世代に自己の遺伝情報(DNA)を受け渡している。その遺伝情報の発現のしくみや発現調節のしくみを理解させるとともに近年のバイオテクノロジーを取り上げ、「遺伝子」について生物基礎で学習した項目に発展的な内容を融合して理解を深める。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~5)を行う。  探究活動: コルク細胞の発見 観察実験: 植物の組織 観察実験: 植物細胞と浸透  観察実験: ペーパークロマトグラフ フィー 観察実験: 減数分裂 観察実験: だ腺染色体
2・3	(3) 環境と動物の反応 ア 刺激の受容と反応 イ 体内環境 ウ 神経とホルモンによる調節 エ 免疫 オ 動物の反応  (4) 植生と生態系 ア 植生の多様性と分布 イ 生態系	○生物基礎で学習した生物が持つ特性である「恒常性」の内容理解を深めるために、刺激の受容から反応までの興奮の伝わり方や神経系の特性および免疫について取り上げ、総合的な内容を理解する。  ○「生物の多様性」について、生態系を中心に生物をマクロの視点で捉える基礎的な内容からさらに発展させ、詳しいしくみや概念について取り上げることで我々人類が生活していく地球環境について理解する。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~5)を行う。  観察実験: 眼の盲斑 探究活動: 赤血球の変化 観察実験: 食作用  単元ごとに前述の多様な学習活動(1~5)を行う。 観察実験 外来生物の調査 全体を通して、それぞれの学習活動は単元ごとに4つの観点について評価される。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

## 指導と評価の年間指導計画 物理β

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
物理 (物理β)	3年	5	改訂版 総合物理 (数研出版)	セミナー物理基礎+物理(第一学習社) 物理実験書(岡山県高等学校理科協議会)

科目の目標	物理的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。			
主な学習活動	<p>1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】</p> <p>2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】</p> <p>3 観察・実験型の授業では、課題意識を強く持ち、グループ内で協力して、観察・実験を通して考察ができるように主体的に取り組みましょう。【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】</p> <p>4 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】</p> <p>5 授業で学習した内容と日常生活(身近な環境問題など)を関連づけ、科学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】</p>			
未来創造力	<b>知の基盤となる力</b> 社会で生きる知識・技能, 読解力	<b>探究する力</b> 批判的・論理的思考力, 創造力, 表現力	<b>未来へ向かう力</b> 自律の精神, 友愛の精神, 進取の精神	
評価の観点及び評価規準	知識・理解	観察, 実験の技能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	観察, 実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録, 整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
主な評価方法	・授業ノート ・定期考査	・授業状況の観察 ・実験レポート ・定期考査	・実験レポート ・定期考査	・授業状況の観察 ・ノート ・課題への取り組み

## 物理β 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
1	(3) 電気と磁気 ア 電気と電流 イ 電流と磁界	<p>○電気や磁気について、日常生活や社会と関連づけて観察、実験などを通して探究し、次のことを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電荷が相互の及ぼしあう力と電界の表し方。</li> <li>・電界と電位との関係を静電気力による位置エネルギーと関連付け。</li> <li>・コンデンサーの性質と電気容量を電界や電位差と関連付け。</li> <li>・電気回路における基本的な法則。</li> </ul>	<p>単元ごとに前述の多様な学習活動(1~5)を行う。</p> <p>実験 11 静電誘導 実験 12 電位と電場 実験 13 コンデンサーの基本的性質 実験 14 直流回路</p>
2・3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・電流がつくる磁界の様子。</li> <li>・電流が磁界から受ける力。</li> <li>・磁束の変化と誘導起電力の向きや大きさとの関係と電磁誘導の法則</li> <li>・交流の発生について</li> <li>・電磁波の性質とその利用</li> </ul>	<p>実験 15 電流のつくる磁場</p>
	(4) 原子 ア 電子と光 イ 原子と原子核 ウ 物理学が築く未来	<p>○電子、原子及び原子核に関する現象について観察、実験などを通して、以下の学習内容の理解を深めるとともに、物理学的に探究する能力を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子の電荷と質量について</li> <li>・電子や光の粒子性と波動性について</li> <li>・原子の構造やスペクトルと電子のエネルギー準位との関係について。</li> <li>・素粒子の存在について。</li> </ul>	<p>単元ごとに前述の多様な学習活動(1~5)を行う。</p> <p>実験 18 電気素量の発見 実験 19 原子のスペクトル 実験 20 半減期</p>
備考	<p>状況によって計画を変更する場合があります。5 単位のうち 1 単位分を 2 つの習熟度別講座(発展的な問題演習に取り組む生徒、標準的な問題の復習に取り組む生徒)に分けて学習を深めます。</p>		

指導と評価の年間指導計画 体育

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
体育	3年	3	現代高等保健体育 改訂版 (大修館書店)	ステップアップ高校スポーツ2021 (大修館書店)

科目の目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。また、自己の状態に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正・協力・責任・参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。			
見方・考え方				
主な学習活動	<p>1 運動の合理的、計画的な実践や体育理論の学習を通して、知識や技能を高め、課題の解決に向けて取り組むことにより、運動のもつ特性や魅力に触れ、運動のもつ楽しさや喜びを深く味わいます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【創造力】</p> <p>2 各種の運動を合理的に行なうことにより、体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力、生活に応じた運動の計画を立て、主体的に取り組むことができる能力を養います。【批判的・論理的思考力】【進取の精神】</p> <p>3 運動における競争や協働の経験を通して、公正な態度や進んで規則を守りお互いに協力して責任を果たし、チームやグループの意志決定に参画するなどの態度を身につけます。また、健康安全を確保して運動することができる能力や態度を身につけます。【社会で生きる知識・技能】【友愛の精神】</p>			
未来創造力	<b>知の基盤となる力</b> 社会で生きる知識・技能、読解力	<b>探究する力</b> 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	<b>未来へ向かう力</b> 自律の精神、友愛の精神、進取の精神	
評価の観点及び評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	運動の技能	知識・理解
	自己の体力や生活に応じて、進んで運動の楽しさや喜びを体得しようとする。また、公正・協力・責任などの態度を身につけるとともに、健康・安全に留意して運動をしようとする。	運動の特性に応じて、自己やグループの能力に適した課題の解決を目指し、活動の方法を考え工夫している。	自己の能力に適した課題の解決を目指して運動を行なうとともに、運動の特性に応じた技能を身につけている。また、自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につける。	運動の特性と学び方、安全の確保の方法、生活における運動の意義、体ほぐし・体力の意義、運動の心身に関わる効果に関する基礎的な事項を理解し、知識を身につける。
主な評価方法	・授業状況の観察 ・グループノート ・課題への取り組み	・授業状況の観察 ・グループノート	・授業状況の観察 ・スキルテスト	・知識理解度テスト ・グループレポート

## 体育 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
1	オリエンテーション 体ほぐし運動 スポーツ大会 体育理論 豊かなスポーツライフの設計の仕方 I期選択制授業 バレーボール テニス ソフトボール 卓球 II期選択制授業 卓球 バドミントン バスケットボール ゴルフ ダンス・武道	○活動目標・規律など理解することができる。 ○体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができる。 ○整列・挨拶ができる。 ○豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解することができる。 ○それぞれの種目の特性を理解し、自己の関心・意欲・能力・適性等に応じて種目を選択し自己に適した目標や課題を持ちお互いに協力し合って計画的に練習やゲームを行う。 ○健康面や安全面に配慮して、取り組むことができる。	年間を通して『学習活動』1、2、3を行い4つの観点について評価を行う。
2 3	体づくり運動 体育理論 文化的特性や現代のスポーツの特徴 III期選択制授業 陸上競技 サッカー Tボール バスケットボール テニス IV期選択 バスケットボール サッカー バドミントン 卓球	○自分と仲間の心と体に向き合って、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、心と体をほぐしたり、体力を高めたりすることができる。 ○豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解することができる。 ○それぞれの種目の特性を理解し、自己の関心・意欲・能力・適性等に応じて種目を選択し自己に適した目標や課題を持ち、お互いに協力し合って計画的に練習やゲームを行うことができる。	『学習活動』1、2、3を行い4つの観点について評価を行う。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

## 指導と評価の年間指導計画 美術Ⅱ

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
美術Ⅱα	3年	3	高校生の美術Ⅱ (日本文教出版)	学校作成プリント

科目の目標	美術の創造的な活動を通して、造形的なものの方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術文化と深く関わる資質・能力を育成する。			
主な学習活動	<p>1 造形的なよさ、表現の意図と工夫、美術の働きについて考え、主題をつくったり、個性豊かに構想を練ったりしましょう。【創造力】【探求する力】</p> <p>2 表現の活動では、造形的な視点について理解を深めながら、意図に応じて表現方法を工夫しましょう。【創造力】【探求する力】</p> <p>3 鑑賞の活動では、感じ取った表現の工夫を自分の言葉で書いて発表し、自分とは異なる友人のものの方や考え方に触れましょう。【読解力】【友愛の精神】</p> <p>4 授業で学習した内容を日常の生活と関連づけて、美術文化に親しみ、さらに感性を高めていきましょう。【進取の精神】</p>			
未来創造力	<b>知の基盤となる力</b>	<b>探究する力</b>	<b>未来へ向かう力</b>	
	社会で生きる知識・技能、読解力	批判的・論理的思考力や創造力、表現力	自律の精神、友愛の精神、進取の精神	
評価の観点及び評価規準	鑑賞の能力	創造的な表現の技能	発想や構想の能力	関心・意欲・態度
	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、その美しさを創造的に味わっている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表している。	感性や創造力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。
主な評価方法	・鑑賞カードの記入の状況 ・発表の様子	・制作の様子の観察 ・作品	・スケッチやメモ ・発想・構想プリント	・発表やグループワーク ・振り返りプリント

## 美術Ⅱ 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
1	(1) 絵画の役割と写真 発明 〈鑑賞〉	○絵画の役割の変化と、表現としての意義を 写真との関連から考える。	【鑑賞】18世紀までの絵画の役割 をそれ以降の絵画と比較して違い を考える。  写真の発明以降、主体性を重視し た表現という視点で絵画表現の歩 みを考える。
	(2) 構想を練って描く 油彩表現 〈鑑賞〉 〈絵画・彫刻〉	○造形的な美しさを感じ取り、構想の独自性 と表現の工夫について、スケッチや習作と 比較しながら考え、表現が試行錯誤の結 果生み出されていくことを知る。  ○モチーフの大きさや形、構図や配色などを 試行錯誤して構想を練り、描きたいテーマ を創造的に表す。	【鑑賞】教科書の作品について鑑 賞し、作品とスケッチや習作から作 品に至る変化の様子を構図、表現方 法の視点から探る。  【表現】スケッチや習作を重ね、 試行錯誤して構図を組み立て、油 彩で表現する。
2 3	(3) デザインがもたら す統一感 〈鑑賞〉 〈デザイン〉	○組織やイベントでは、建築、内装、グッズな どを共通の配色や図柄を用いてデザインさ れていることに気づき、統一感のある美しさ を感じ取る。  ○イベントのイメージを統一感のあるデザイ ンで表す。	【鑑賞】組織やイベントの建築、内 装、グッズを分析し、効果的に伝える ための工夫を読み解く。  【表現】学校行事の装飾とグッズ をデザインする。  ・図柄と配色デザインについて主 題を決め、構想を練る。  ・空間の装飾とグッズへ展開する 計画を立てる。  ・基本デザインと展開についてレン ダリングする。
	(4) 造形的な特徴を基 に、作風を探る。 〈鑑賞〉	○造形的な特徴から全体のイメージや作風 を捉え、今まで気づかなかった作品のよさ や美しさに気づく。	【鑑賞】作品に意図的に用いてい る造形要素を探り、それらが感情 にもたらす効果を話し合いながら 考える。
	(5) 考えたことを基に した表現 〈デザイン/絵画彫刻 いずれか選択〉	○自己や社会について深く見つめ、考えたこ とから主題をつくる。 ○表現形式について考え、個性豊かな表現 の構想を練る。 ○主題にあった表現を創意工夫して表す。	【表現】 ・メモやスケッチを重ねながら造形 的視点で考え、主題を決める。 ・客観的な視点に立って、既存の 価値にとれ割れることなく構想す る。 ・自己の見方や感じ方を生かし、 表現方法を創意工夫する。
状況によって計画を変更する場合があります。			

## 指導と評価の年間指導計画 素描

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
素描α	3年	3		学校作成プリント

科目の目標	素描の学習を通して、造形的な見方考え方を働かせ、専門的な美術に関する資質、能力を次の通り育成する。 (1) 表現材料の特性について理解を深めるとともに、対象を深く観察して表現を工夫しながら的確に描写する基礎となる技能を身につける。 (2) 体操のイメージや空間を把握するための基礎となる思考力、判断力、表現力等を育成する。 (3) 造形表現を追及する態度を養う。			
主な学習活動	1 表現の活動では、スケッチやデッサンを通して、空間、形体を把握し、表現を工夫して的確に観察する力と描写力を高めましょう。【創造力】【表現力】【思考力】 2 鑑賞の活動では、感じ取った表現の工夫を自分の言葉で書いて発表し、自分とは異なるものの見方や考え方に触れましょう。【読解力】【思考力】			
未来創造力	<b>知の基盤となる力</b> 社会で生きる知識・技能、読解力	<b>探究する力</b> 批判的・論理的思考力や創造力、表現力	<b>未来へ向かう力</b> 自律の精神、友愛の精神、進取の精神	
評価の観点及び評価規準	鑑賞の能力	創造的な表現の技能	発想や構想の能力	関心・意欲・態度
	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、その美しさを創造的に味わっている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表している。	感性や創造力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。
主な評価方法	・授業状況の観察 ・プリント	・デッサン ・クロッキー	・スケッチやメモ ・教員との対話の内容	・鑑賞カード ・発表の内容

## 素描 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
1 2 3	(1) デッサン・表現材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○対象を深く観察し, 均衡, 律動, 比例などの美的秩序を確かめる。</li> <li>○イメージや形体, 空間を把握する。</li> <li>○美しさを発見する。</li> <li>○形体や色彩, 材質感の表し方を工夫する。</li> <li>○表現材料を意図に沿って工夫して使用する。</li> </ul>	<p>【デッサン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モチーフの特徴を捉えて卓上に構成し描写するデッサン</li> <li>・テーブルに組んであるモチーフのデッサン</li> <li>・有機物と無機的の組み合わせのデッサン</li> <li>・異素材同士の組み合わせのデッサン</li> <li>・様々な形体のデッサン</li> <li>・構想デッサン</li> <li>・表現の追求</li> </ul> <p>【表現材料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛筆</li> <li>・木炭</li> </ul>
	(2) スケッチ・表現材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○対象の形体や空間を端的に把握する。</li> <li>○対象のよさや美しさを端的に把握する。</li> <li>○対象の特徴を端的に工夫して表す。</li> <li>○対象の特徴を大まかに把握する。</li> <li>○細部を丁寧に見つめて表す。</li> <li>○全体と部分の関係を考えて表す。</li> <li>○表現材料や用具の特性を理解する。</li> </ul>	<p>【スケッチ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デッサンの前の対象の大きさかみに把握するために行うスケッチ</li> <li>・デッサンの合間に短時間で捉える学習として行うスケッチ</li> <li>・細部の観察と描写の練習として行うスケッチ</li> </ul> <p>【表現材料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛筆</li> <li>・木炭</li> <li>・墨</li> </ul>
	(3) 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒や作家の作品について, 表現の意, 形体や色彩, 材質感の描き方の工夫について考察する。</li> <li>○生徒や作家の作品について, 表現材料の活用と効果について考察する。</li> </ul>	<p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デッサンの前段階に見方や表し方の理解を深めるために行う鑑賞</li> <li>・模写を通して考察する鑑賞</li> </ul>

状況によって計画を変更する場合があります。



## 指導と評価の年間指導計画 コミュニケーション英語Ⅲ

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
コミュニケーション英語Ⅲ (文系:コミュニケーション英語Ⅲα, 理系:コミュニケーション英語Ⅲβ)	3年	文系4 理系4	Revised Skillful English Communication Ⅲ (啓林館)	Bright Stage 英文法・語法問題(桐原書店) 速読英単語必修編(Z会)

科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。			
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。 <b>【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】</b> 2 授業ではペアワーク・グループワークなどに積極的に取り組むとともに、スピーチやディベートなどでは他の意見を受容し、自らも論理的に思考し、積極的に考えを表現しよう。 <b>【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】</b> 3 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り、読解問題などに自主的に取り組みましょう。 <b>【読解力】【進取の精神】</b> 4 授業で学習した内容と日常生活(身近な社会問題など)を関連づけ、解決の糸口を考察するなど、主体的に学ぶ意欲を高めましょう。 <b>【創造力】【進取の精神】</b>			
未来創造力	<b>知の基盤となる力</b> 社会で生きる知識・技能、読解力		<b>探究する力</b> 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	<b>未来へ向かう力</b> 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	言語や文化についての知識・理解	外国語理解の能力	外国語表現の能力	コミュニケーションへの関心・意欲・態度
	英語の仕組み、使われていることばの意味や働きを理解するとともに、言語の背景にある文化を理解しようとしている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えを的確に理解するとともに、概要や要点をとらえようとしている。	情報や考えなどについて、英語での話し合いや意見の交換を行うとともに、簡潔に書くことを通して、適切に表現し、伝えようとしている。	コミュニケーションに関心を持ち、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の言語活動に積極的に取り組み、コミュニケーションを図ろうとしている。
主な評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業状況の観察</li> <li>・授業・予習ノート</li> <li>・小テスト</li> <li>・提出物への取り組み</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業状況の観察</li> <li>・提出物への取り組み</li> <li>・授業・予習ノート</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業状況の観察</li> <li>・提出物への取り組み</li> <li>・授業・予習ノート</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業状況の観察</li> <li>・提出物への取り組み</li> <li>・授業・予習ノート</li> </ul>

## コミュニケーション英語Ⅲ 年間指導計画

学 期	学習内容	学習のねらい	学習活動・ 特徴的な活動
1	<p>【C 英ⅢA】SKILLFUL</p> <p>L.1 Errors in Geography</p> <p>L.2 Slow Food for a Fast World</p> <p>L.3 What Happened When She Was Stolen?</p> <p>L.4 The Diversity of Lying</p>	<p>◎各課において○についての文章を読み取り、 □の文法事項が活用できるようになる。</p> <p>○地理における思い違い</p> <p>□トピックセンテンス</p> <p>○スローフード運動</p> <p>□文章の構成</p> <p>○モナリザの盗難事件</p> <p>□時間順序を示す語句</p> <p>○さまざまなうそ</p> <p>□例、列挙を示す語句</p>	<p>○予習プリント・予習 ノートを活用して理 解を深める。</p> <p>○本文の大意を把 握し、英語で要約を する。</p> <p>○英文を聞いて内容 を再現する活動を行 う(ディクトグロス)。</p> <p>○ディスコースマー カーや文構造に注意 しながら、論説文、説 明・物語文などを精 読し、内容や情報を 整理し、理解を確認 する。</p>
	<p>【C 英ⅢB】SKILLFUL</p> <p>L.9 Buy and Buy!</p> <p>L.10 If We would Talk with the  Animals</p> <p>L.11 A Nomad's Life</p> <p>L.12 Future of English</p>	<p>◎英文構造を理解し、精読できるようになる。</p> <p>○今日の消費社会と経済</p> <p>○動物のコミュニケーション</p> <p>○アフリカの生活リズム</p> <p>○今後の英語の発展予想</p>	
2 3	<p>【C 英ⅢA】SKILLFUL</p> <p>L.5 Organizing to Protect the Environment</p> <p>L.6 Long Live Women!</p> <p>L.7 What a Successful Reader Needs</p> <p>L.8 No Greater Love</p>	<p>◎各課において○についての文章を読み取り、 □の文法事項が活用できるようになる。</p> <p>○世界の環境保護団体</p> <p>□対比を示す語句</p> <p>○女性の長寿の理由</p> <p>□原因・結果を示す語句</p> <p>○上手な読み手になる方法</p> <p>○命がけて献血に挑んだ少年</p>	<p>○ペアワーク・グルー プワークを通じて、読 んだり聞いたりした 内容や自分が経験し たことに基づき各自 の考えを表現する活 動を行う。</p>
<p>【C 英ⅢB】SKILLFUL</p> <p>L.13 Bathing</p> <p>L.14 Body and Imperfect</p> <p>L.15 Sick building Syndrome</p>	<p>英文構造を理解し、精読できるようになる。</p> <p>○入浴とお風呂の歴史</p> <p>○身体障がい者としての生き方</p> <p>○シックハウス症候群とその解決法</p>		

状況によって計画を変更することがあります。

## 指導と評価の年間指導計画 英語表現Ⅱ

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
英語表現Ⅱ (文系:英語表現Ⅱ α, 速修英語表現 Ⅱ α, 理系:英語表 現Ⅱ β Bright)	3年	文系2 (速修2) 理系2	DUALSCOPE English Expression Ⅱ (数研出版)	DUALSCOPE English Expression Ⅱ ワークブ ック(数研出版) 入試必携英作文 Write to the Point(数研出版) Bright Stage 英文法・語法問題 Training Book Standard(桐原書店)

科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。		
主な 学習活動	<p>1 教科書や問題集に沿って学習し、特に表現の能力を伸ばします。【社会で生きる知識・技能】 【自律の精神】【読解力】</p> <p>2 2年次までの英語表現Ⅱの内容を復習しながらより高度な内容を学習します。 ①基本的な英文をインプットし、音読、暗唱する。 ②Exercise で文法事項の確認と表現の定着、日本語から英語への自動化を図る。 ③文法問題に取り組み、その文法事項を使って表現のバリエーションを増やす。 ④読んだり聞いたりして得た情報や与えられた主題について自分の考えを表現する。 【社会で生きる知識・技能】【批判的・論理的思考力】【表現力】</p> <p>3 授業ではペアワーク・グループワークなどに積極的に取り組むとともに、スピーチやディベートなどでは他の意見を受容し、自らも論理的に思考し、積極的に考えを表現しよう。【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】</p> <p>4 授業と同様に家庭学習も大切にし、学習したことを振り返り、基本事項の確認、応用問題などに自主的に取り組みましょう。【進取の精神】</p> <p>5 授業で学習した内容と日常生活(身近な社会問題など)を関連づけ、解決の糸口を考察するなど、主体的に学ぶ意欲を高めましょう。【創造力】【進取の精神】</p>		
未来創造力	<b>知の基盤となる力</b> 社会で生きる知識・技能、読解力	<b>探究する力</b> 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	<b>未来へ向かう力</b> 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点 及び 評価規準	言語や文化についての知識・理解	外国語表現の能力	コミュニケーションへの関心・意欲・態度
主な 評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業状況の観察</li> <li>・提出物への取り組み</li> <li>・授業・予習ノート</li> <li>・小テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業状況の観察</li> <li>・提出物への取り組み</li> <li>・授業・予習ノート</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業状況の観察</li> <li>・授業・予習ノート</li> <li>・提出物への取り組み</li> </ul>

## 英語表現Ⅱ 年間指導計画

学 期	考 査	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	学 習 活 動 ・ 特 徴 的 な 活 動
1	第 1 回	<b>【Write to the Point】</b> L.9 時間の表現 L.10 数字の表現 L.11 仮定・条件の基本 <b>【Bright Stage Training Book Standard】</b> L.1 時制 L.2 態 L.3 助動詞 L.4 不定詞 <b>【DUALSCOPE Part 2】</b> UNIT 28, 29, 30, 31	○時間の表現「～ぶりで」「～たてば」 ○「何千もの～」「3分の1」冠詞, 複数形 ○現実か, 仮定かの識別  ○基本時制, 時・条件の副詞節と名詞節 ○群動詞・助動詞・進行形・完了形を含む受動態 ○基本用法, 助動詞+have+done, that 節で用いる should ○名詞・副詞・形容詞用法, 完了不定詞 ○様々な場面設定におけるパラグラフライティングの基礎を学ぶ。	単元ごとに「主な学習活動」の2①②③④を行い, 単元を通じて3つの観点について評価を行う。
	第 2 回	<b>【Write to the Point】</b> L.12 仮定・条件の応用 L.13 比較の基本 L.14 比較の応用 L.15 譲歩の表現 <b>【Bright Stage Training Book Standard】</b> L.5 動名詞 L.6 分詞 L.7 比較 L.8 関係詞 <b>【DUALSCOPE Part 2】</b> UNIT 32, 33, 34	○仮定を表す定型表現 ○比較されるものを同じ形にする ○The 比較級～, the 比較級…, 倍数表現 ○「たとえ～でも」「どんなに～でも」  ○完了動名詞, 目的語が不定詞/動名詞 ○前置修飾, 後置修飾, 分詞構文, 付帯状況 ○原級・比較級・最上級, 倍数・数量表現 ○関係代名詞と関係副詞, 非制限用法 ○プレゼン, ディスカッション, デイベートにおける効果的なスピーチの基礎を学ぶ。	
	第 3 回	<b>【Write to the Point】</b> L.16 重要表現(1) L.17 重要表現(2) L.18 Aは…だ <b>【Bright Stage Training Book Standard】</b> L.9 仮定法 L.10 疑問文と語順 L.11 否定・省略・強調 L.12 代名詞	○「～と似ている」「～という点で異なる」 ○it を使った表現「～してはじめてS'V」 「Vするのに…(時間)かかる」  ○仮定法過去, 仮定法過去完了, 定型表現 ○疑問文の基本, 間接疑問, 修辞疑問, 倒置 ○部分否定, 二重否定, 省略表現, 強調構文 ○代名詞の用法, 形式主語・形式目的語	
	第 4 回	<b>【Write to the Point】</b> 発展編 長文英作文 自由英作文 <b>【Bright Stage Training Book Standard】</b> L.13 主語と動詞の一致 L.14 接続詞 L.15 前置詞	○既習の表現や文法事項の活用 ○頻出テーマと演習  ○様々な表現における主語と動詞の一致 ○等位接続詞・従属接続詞, 名詞節・副詞節 ○時を表す前置詞, 場所を表す前置詞	

状況によって計画を変更することがあります。

## 総合的な探究の時間 (Minamix) 3年次 指導と評価の年間指導計画

目標	<p>自ら設定した課題を、仲間と協働しながら探究し、課題発見・解決へのアプローチ方法を身につける学び、社会と自らの生き方を関連づけて考え、自立的に自身の進路を拓く学びを進め、探究で繋がる学びで、知り、深く考え、未来を創るために行動する志と力「未来創造力」を育む。</p> <p>(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につけ、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解する。</p> <p>(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する力を身につける</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新しい価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を育てる。</p>		
探究の見方・考え方	<p>各教科・科目等における見方・考え方を総合的・統一的に活用して、後半で複雑な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究し、自己の在り方生き方を問い続けるという総合的な探究の時間の特質に応じた見方・考え方。</p>		
主な学習活動	<p>「進路探究」 大学・学部及び入試研究を進め、自分が学びたい学問と将来の職業とのつながりや社会貢献について考えます。【自律の精神】【進取の精神】</p> <p>「課題探究」 SDGsなどの現代的課題に関して各教科で学習した内容と関連づけ、課題意識をもってレポートや小論文の作成、ディベートなどを行います。グループやクラスで意見交換し、客観的に相互評価をします。【読解力】【創造力】【批判的・論理的思考力】【表現力】【友愛の精神】</p> <p>「成果のまとめ」 3年間の振り返りを行い、これからの自分の在り方、生き方について考えます。【社会で生きる知識・技能】【創造力】【進取の精神】【表現力】</p> <p>・各教科で学習した内容と日常生活を関連づけ、課題意識を持ち、自ら学ぶ意欲を高めましょう。</p>		
未来創造力	<b>知の基盤となる力</b> 社会で生きる知識・技能、読解力	<b>探究する力</b> 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	<b>未来へ向かう力</b> 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	<b>知識・技能</b> ・課題を発見し解決するために必要な知識・技能 ・探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。	<b>思考・判断・表現</b> ・探究を深めるための思考・判断・表現 ・実社会や実生活と自己との関わり方から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	<b>主体的に学習に取り組む態度</b> ・自らの学習を調整しながら主体的・協働的に取り組もうとする態度 ・探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。
主な評価方法	・ワークシート・レポート等の成果物 ・自己評価・相互評価	・ワークシート・レポート等の成果物 ・発表や話し合い等の活動の観察 ・自己評価・相互評価	・発表や話し合い等の活動の観察 ・振り返りワークシート ・課題の内容、提出状況 ・自己評価・相互評価

## 総合的な探究の時間 (Minamix) 3年次 年間指導計画

[知]:知識・技能 [思]:思考・判断・表現 [主]:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1 ・ 2 学 期	自己実現に向けた進路探究	<p>[知]自らの進路・生き方に関わる様々な情報・知識を身につけ、自らの進路や生き方を関連づけて理解すると共に、自己の進路実現に必要な技能を身につけている。</p> <p>[思]現代社会や地域の諸課題と関連づけて、自らの進路・生き方について課題を設定して多面的・多角的に考察し、的確に表現することができている。</p> <p>[主]自己のあり方や将来の進路・生き方に関して積極的に考えると共に、学習に対する意欲を高め、創造的・実践的な態度を身につけようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学及び入試研究</li> <li>・志望理由書</li> </ul>
1 ・ 2 ・ 3 学 期	<p>課題解決探究活動</p> <p>成果のまとめ</p>	<p>[知]持続可能な社会の実現には多様な問題が存在していることや問題解決に向けて取り組む人々や組織があることを理解するとともに、調査活動を、目的や対象に応じて適切に実施している。</p> <p>[思]探究の過程において、設定した課題の解決に向けて仮説を立て、必要な情報の収集し、事実や関係を整理して比較、分析するとともに、目的や意図に応じて論理的に表現している。</p> <p>[主]探究を通して、多様な意見を尊重し、協働的に課題を解決しようとしている。自己の在り方生き方を考え、持続可能な社会の形成者として貢献しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的課題に関するレポート、小論文、ディベート等</li> <li>・ルーブリック評価</li> <li>・キャリアパスポート</li> </ul>
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		